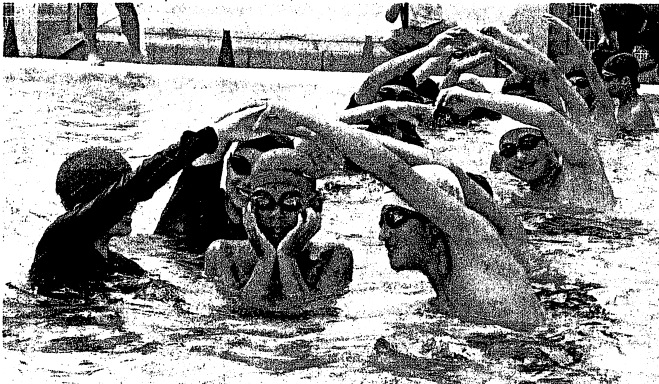


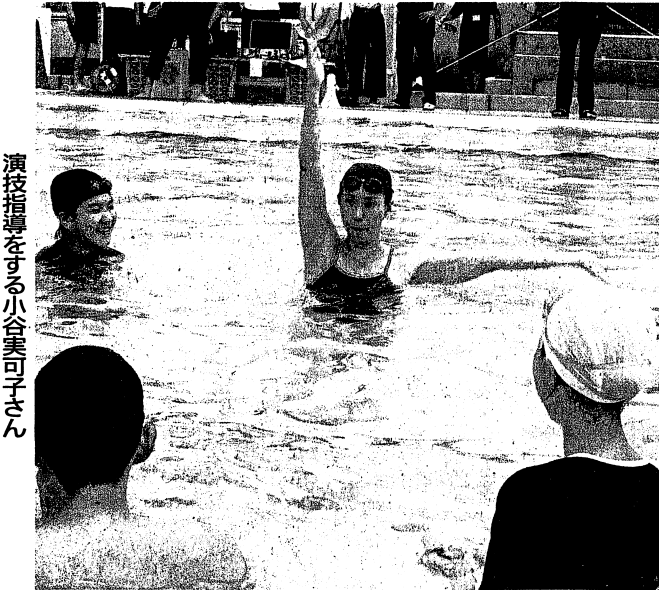
# アスリートに学ぶ玖珠町・森中31人

## 総決算の演技披露

玖珠町の森中学校2年生31人が8日、町内四日市のB&G海洋センターでダンススイミングを披露した。1988年のソウル五輪シンクロロナイズドスイミングで、ソロとデュエット二つの銅メダルを獲得した小谷美可子さん(51)を講師に迎え、2カ月間の練習の成果を発表した。



ダンススイミングを披露する生徒たち=8日、玖珠町



演技指導をする小谷美可子さん

## 第3弾は小谷さんが講師

町内の中学校には、プールがなく、来春開校予定の統合中学校「くす星翔中学校」に初めてできる。これを機に、卒業生で明海大学(千葉県、埼玉県)4年の秦絵莉香さん(21)らがアスリートとの出会いを人生に生かしてもらおうと企画したプロシエクトの第3弾。

これまで4、6月に開催。バルセロナ五輪女子200メートル平泳ぎで金メダルを獲得した岩崎恭子さんや、100メートル平泳ぎの元日本記録保持者で水中パフォーマンスの第一人者の不破央さんによる講演会や練習会が開かれた。

(姫野直也)

総決算となる今回は初めに講演会があり、小谷さんがメダリストになるまでの体験などを伝えた。「目の前にある課題を地道に越えていくことが大切」と訴えた。

発表会では生徒が2チー

ムに分かれて演技を披露。振り付けは不破さんに教えてもらった基本をベースに、自分たちで考えた。海洋センターや近くの小学校のプールが借りられないときは、公園に集まって練習を続けてきた。

### ダンススイミング



足がつくプールで、ダンスの要素を取り入れて複数人が動きを合わせて表現する水中スポーツ。泳ぎが苦手でも、性別や世代を問わずに作品をみんなに見てもらおうことを目標にしている。